

報道関係者各位

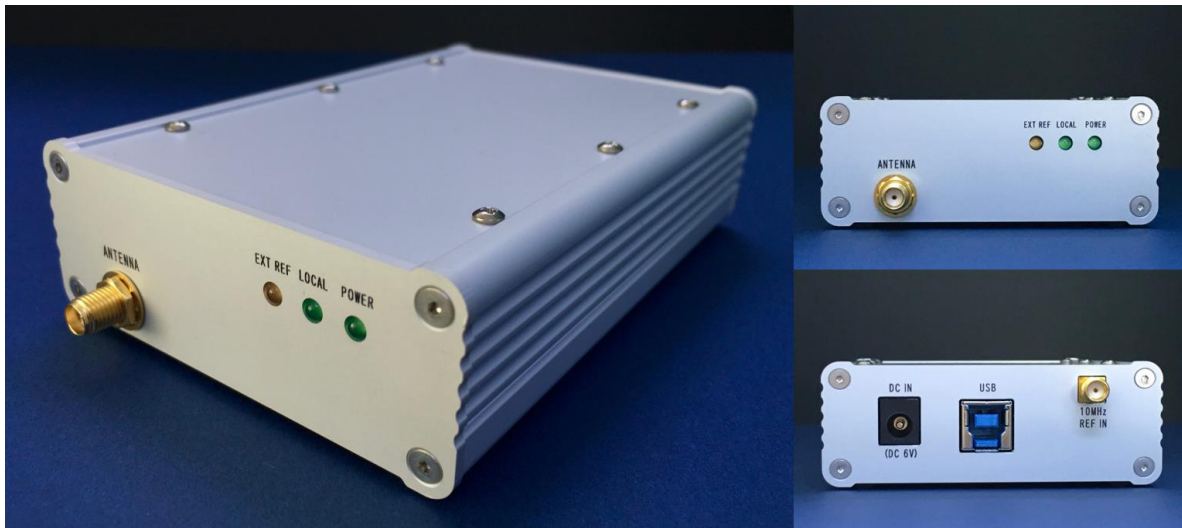
2018年2月20日

Press Release

ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社

ライトハウス、GNSS 4 波のフロントエンドを開発、4 月に発売

衛星測位システム設計／製造／販売を手がける、ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役：前田裕昭、以下 ライトハウス)は、最大で同時に4つの周波数のGNSS信号を処理するソフトウェア受信機向けのフロントエンド、「Hibiki(ひびき)」の開発を完了し、2018年4月より販売開始します。



Hibiki(ひびき) 外観

日本の準天頂衛星システム (QZSS) は、L1、L2、L5、L6 と4つの周波数帯でGNSS信号を提供しています。また、米国のGPSやロシアのGLONASは3波、欧州のGalileoや中国のBeiDouは4波です。ところが、従来の多くのフロントエンドは最大で同時に2波しか処理することができず、より多くの周波数の信号を同時に処理したいなどの高度に専門的な用途には使えませんでした。

ライトハウスは、そのようなGNSS関連技術のニーズに対応するため、世界に類を見ない最大4波同時処理が可能なフロントエンド商品群Hibiki(ひびき)の開発を完了し、そのシリーズのうちの一部の販売を開始します。

この Hibiki (ひびき) は、USB3.0 による圧倒的なデータ転送速度の性能を利用することで、1 秒間に 5000 万回にも及ぶ信号サンプルデータを、安定的にホスト計算機側に転送します。この高いサンプリング周波数も、従来のフロントエンドには無いもので、L5 信号の受信高度化や、マルチパス低減機能の改良などに役立てることができます。

■ 主な特長 Typical Features

Series Name		Hibiki A011	Hibiki A012	Hibiki B014
Input Signal Frequency		1 = L1	2 = L1+L2	4 = L1+L6+L2+L5
Sampling Frequency		48.9Msps	48.9Msps	48.9Msps
Sampling Quantization Bits		2		
Size		120×80×30mm		
Weight		≒ 320g		
Interface	Antenna IN	1		
	DC IN	DC 6V		
	Sampled Data OUT	USB 3.0		
	REF Freq IN	10MHz (option)		
Other		<ul style="list-style-type: none"> • DC Output through Antenna IN (option) • Input Signal Frequency Modification (option) • Sampling Frequency Modification (option) 		

本リリース / 製品やサービスに関するお問い合わせ

ライトハウステクノロジー・アンド・コンサルティング株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿 6 丁目 12-5-502

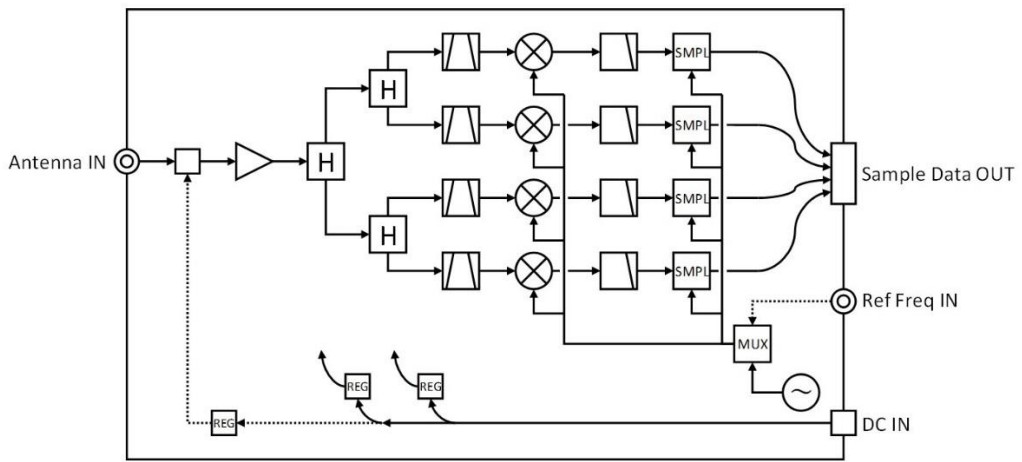
TEL : 03-3353-4668 E-mail : support@lighthouse.jp URL : <http://lighthouse.jp/>

広報担当：中村

© 2007 Lighthouse Technology and Consulting Co., Ltd.

- 本プレスリリースおよび当社サイト、カタログ、リーフレット、マニュアルなどに記載されている会社名、製品名、システム名などは該当する各社の商標または登録商標です。
- 製品、サービスの仕様、デザイン、価格などは予告なく変更あるいは販売を中止する場合があります。ご検討・ご注文に際しては最新の情報をお問い合わせください。

プレスリリース画像



Hibiki(ひびき) ブロックダイヤグラム



Hibiki(ひびき) 前面



Hibiki(ひびき) 背面



Hibiki(ひびき) 側面



Hibiki(ひびき) 付属品